

# 特許協力条約



発信人 日本国特許庁（受理官庁）

出願人代理人  
吉田 研二

あて名  
〒 180 - 0004

日本国東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目34番12号

殿

P C T

## 国際出願番号及び 国際出願日の通知書

(法施行規則第22条、第23条)  
[PCT規則20.5(c)]

発送日（日、月、年）

11.05.2004

出願人又は代理人の書類記号

442P1-0012

### 重要な通知

国際出願番号 PCT/JP2004 / 005475	国際出願日（日、月、年） 16.04.2004	優先日（日、月、年） 16.04.2004
-------------------------------	----------------------------	--------------------------

出願人（氏名又は名称）

ナイトライド・セミコンダクター株式会社

1. この国際出願は、上記の国際出願番号及び国際出願日が付与されたことを通知する。

記録原本は、 11 日 05 月 2004 年 に国際事務局に送付した。

### 注 意

- a. 国際出願番号は、特許協力条約を表示する「PCT」の文字、斜線、受理官庁を表示する2文字コード（日本の場合JP）、西暦年の4桁の数字、斜線、及び6桁の数字からなっています。
- b. 国際出願日は、「特許協力条約に基づく国際出願に関する法律」第4条第1項の要件を満たした国際出願に付与されます。
- c. あて名等を変更したときは、速やかにあて名の変更届等を提出して下さい。
- d. 電子計算機による漢字処理のため、漢字の一部を当用漢字、又は、仮名に置き換えて表現してある場合もありますので御了承下さい。
- e. この通知に記載された出願人のあて名、氏名（名称）に誤りがあるときは申出により訂正します。
- f. 国際事務局は、受理官庁から記録原本を受領した場合には、出願人にその旨を速やかに通知（様式PCT/IB/301）する。記録原本を優先日から14箇月が満了しても受領していないときは、国際事務局は出願人にその旨を通知する。[PCT規則22.1(c)]

受理官庁の名称及びあて名

日本国特許庁 (RO/JP)

郵便番号 100-8915

日本国東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

電話番号 03-3592-1308

権限のある職員

特許庁長官

## 特許協力条約

PCT

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)  
[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 442P1-0012	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/005475	国際出願日 (日.月.年) 16.04.2004	優先日 (日.月.年) 16.04.2004
出願人 (氏名又は名称) ナイトライド・セミコンダクター株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条) の規定に従い出願人に送付する。  
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 3 ページである。

この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。  
 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b.  この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第I欄参照)。

2.  請求の範囲の一部の調査ができない (第II欄参照)。

3.  発明の単一性が欠如している (第III欄参照)。

4. 発明の名称は  出願人が提出したものと承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は

出願人が提出したものと承認する。

第IV欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により  
国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1ヶ月以内にこ  
の国際調査機関に意見を提出することができる。

## 6. 図面に関して

a. 要約書とともに公表される図は、  
第 1 図とする。  出願人が示したとおりである。

出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。

本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。

b.  要約とともに公表される図はない。

## A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. C17 H01L33/00, H01S5/343

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. C17 H01L33/00, H01S5/00-5/50

## 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年  
 日本国公開実用新案公報 1971-2004年  
 日本国登録実用新案公報 1994-2004年  
 日本国実用新案登録公報 1996-2004年

## 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 2003-273473 A(日亜化学工業株式会社) & WO 03/41234 A1	2003.09.26 全文全図
A	JP 2004-87908 A(シャープ株式会社) (ファミリーなし)	2004.03.18 全文全図
A	JP 2000-196194 A(三洋電機株式会社) (ファミリーなし)	2000.07.14 全文全図

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

## の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 02.08.04	国際調査報告の発送日 17.8.2004
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 近藤幸浩 電話番号 03-3581-1101 内線 3253

C (続き) 関連すると認められる文献		関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	
A	JP 10-126006 A (日亜化学工業株式会社) & EP 772249 A2 & CN 1156909 A 全文全図 & US 5959307 A & KR 267839 B & JP 2002-84043 A & US 2003/15724 A1	1998.05.15 1-7
A	JP 2003-115642 A(日亜化学工業株式会社) & TW 536859 B & WO 02/80320 A1	2003.04.18 全文全図 1-7
A	JP 2000-232239 A(日亜化学工業株式会社) (ファミリーなし)	2000.08.22 全文全図 7
A	JP 2002-314204 A(株式会社リコー) (ファミリーなし)	2002.10.25 全文全図 7